

新型コロナワクチン接種の日程と予約方法

現在、本市では16歳以上の人を対象に新型コロナウイルスのワクチン接種を実施しています。国の供給状況に合わせてワクチンを効率よく配分するため、「接種期間」ごとに「予約受付期間」を設け、順次受け付けを行っています。予約サイトやコールセンターなどで予約の上、「集団接種」または「個別接種」のいずれかで接種をお願いします。

予約受付期間とワクチン接種期間

集団接種

予約受付期間	接種期間 (水・木・土・日曜)
8月2日(月) ～11日(水)	8月18日(水) ～22日(日)
8月9日(月・休) ～18日(水)	8月25日(水) ～29日(日)
8月16日(月) ～25日(水)	9月1日(水) ～5日(日)
8月23日(月) ～9月1日(水)	9月8日(水) ～12日(日)
8月30日(月) ～9月8日(水)	9月15日(水) ～19日(日)
9月6日(月) ～15日(水)	9月22日(水) ～26日(日)

※接種時間は、水・木曜 14時～16時、土・日曜 10時～12時、14時～16時です。

※8月18日(水)～9月5日(日)の集団接種は、1カ所(佐世保港国際ターミナルビル)だけで行います。ワクチンの供給状況などによって接種日程や接種会場などを変更する場合がございますので、最新の情報は市ホームページなどでお知らせしますので、ご確認ください。



個別接種

予約受付期間	接種期間
8月2日(月) ～11日(水)	8月16日(月) ～22日(日)
8月9日(月・休) ～18日(水)	8月23日(月) ～29日(日)
8月16日(月) ～25日(水)	8月30日(月) ～9月5日(日)
8月23日(月) ～9月1日(水)	9月6日(月) ～12日(日)
8月30日(月) ～9月8日(水)	9月13日(月) ～19日(日)
9月6日(月) ～15日(水)	9月20日(月・祝) ～26日(日)

※接種時間は、医療機関によって異なります。

予約方法

下記A～Cのいずれかの方法で予約してください。

A ワクチン接種予約サイト(24時間受付、予約開始日の9時～)

予約サイトは
右の画像からどうぞ



B ワクチン接種コールセンター

☎ 0570-022-558 (9時～18時)

※電話が繋がりにくい場合は時間を置いてからご連絡ください。

C 「かかりつけ医」のいる医療機関

ワクチン接種の可否は事前に医療機関へご相談ください。受診する医療機関によって予約方法が異なります。

予約をキャンセルする場合は必ず連絡を

大切なワクチンを無駄にしないため、ワクチン接種の予約をしている人で、急きょ接種に行けなくなった場合は、必ず予約キャンセルの連絡をしてください。

予約サイトで予約した場合

・接種日2日前まで

予約サイトからキャンセルできます

・接種日の前日、当日

コールセンターか新型コロナウイルス感染症特別対策室・ワクチン接種推進チーム(☎ 24-1111)へ

コールセンターで予約した場合

コールセンターか新型コロナウイルス感染症特別対策室・ワクチン接種推進チーム(☎ 24-1111)へ

自分自身や大切な人を守るため

新型コロナワクチンを正しく理解し判断を

新型コロナワクチンには、発症や重症化を防ぐ効果があり、多くの人々がワクチン接種を受けることで、重症者等が減り、医療機関の負担を減らすことが期待されています。

一方で、接種後の副反応として、注射した部分の痛みや発熱などのほか、まれに起こる重大な副反応としてアナフィラキシー(急性のアレルギー)などが報告されています。

ワクチン接種は本人の意思に基づいて受けるものですので、接種による効果や副反応などを理解した上で、自分自身でよく考えて判断してください。

また、ワクチンを接種しないことへの差別や偏見、誹謗中傷は許されることではありませんので、絶対にやめましょう。

ワクチンは高い効果が認められています ～発症予防効果は約95%～



ワクチンは新型コロナウイルス感染症による発熱やせきなどの症状が出ること(発症)を予防します。ワクチン接種を受けた人の方が受けていない人よりも発症した割合が少ないことが分かっています。ファイザー社製の新型コロナワクチンについては、2回の接種による発症予防効果が約95%と報告されています。

ワクチンを接種することは、自分自身を守るだけでなく、周りの大切な人を守ることもつながります。

副反応の多くは数日以内に回復します

ワクチン接種後の副反応として、注射した部分の痛みや頭痛、関節・筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱などがあります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。副反応は体がワクチンに反応して出る一時的な症状で、症状の大部分は数日以内に回復します。接種後はすぐに帰らず、感染症対策を講じた上で、15分以上接種会場で安静にしてください。

ワクチン接種後の副反応等については、長崎県コロナワクチンコールセンター(☎ 0120-764-060)にご相談ください。

●接種後すぐに起こり得るまれな症状

じんましん、腹痛、おう吐、息苦しさなど

●接種日～数日に起こり得る一般的な症状

接種部位の痛み・腫れ、発熱、疲労、頭痛、筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢など

ワクチン接種はよく考えて判断を

ワクチン接種は、本人の意思に基づいて受けるものです。接種を望まない人に接種を強制することはありません。また、接種を受ける人の同意なく、接種が行われることはありませんので、接種による効果や副反応などを理解した上で、自分自身でよく考えて判断してください。

ワクチン接種に関する差別や偏見、誹謗中傷は絶対にやめましょう

さまざまな事情で接種を受けられない人もいます。接種を望まない人に接種を強制したり、接種を受けていない人への差別や偏見、誹謗中傷を行ったりすることは絶対にやめましょう。

相談窓口



●職場におけるいじめ・嫌がらせなどに関する相談窓口

佐世保総合労働相談コーナー ☎ 24-4161

江迎総合労働相談コーナー ☎ 65-2141

●人権相談に関する窓口

みんなの人権 110番 ☎ 0570-003-110

インターネット人権相談受付

窓口は右の画像からどうぞ



問い合わせ 佐世保市ワクチン接種コールセンター ☎ 0570-022-558

佐世保市内でゆったり宿泊キャンペーン

市内の宿泊施設に宿泊する市民・県民を対象として、宿泊料金を助成するキャンペーンを実施しています。長崎県が実施する「ふるさとで"心呼吸"の旅」キャンペーンと併用することもでき、市内への集客を高めることによって、市内宿泊事業者への支援と市内観光業の早期回復を図ります。

実施期間 「ふるさとで"心呼吸"の旅」再開日～12月31日(金)まで
※令和4年1月1日チェックアウト分まで有効。
※予算がなくなり次第終了します。

対象者 市内・県内在住者
助成額 宿泊料金1泊1人当たり半額助成
(上限3,000円、1,000円未満切り捨て)

利用方法

- 対象の宿泊施設に、インターネットまたは電話で予約してください。その際に市キャンペーンを利用することを伝えてください。
- チェックイン時に県内在住者であることを確認できる身分証(運転免許証など)を提示してください。
- 市キャンペーンによる助成適用後の料金を宿泊施設に支払ってください。
- 長崎県が実施する「ふるさとで"心呼吸"の旅」キャンペーンと併用する場合は、県キャンペーンによる助成を適用した後、市キャンペーンによる助成が適用されます。

※県キャンペーンには、1泊1人当たり2,000円の地域限定クーポンが付与されます。地域限定クーポンは、対象店舗での土産品の購入や飲食などに利用できます(使用期限はチェックアウト日まで)。



※新型コロナウイルスの感染拡大状況によって、本キャンペーンを中止する場合があります。本キャンペーンを中止した場合、キャンセル料に対する補てんは行いません。
※[team NAGASAKI SAFETY]の認証を受けている宿泊施設(長崎大学監修のガイドラインに則り、新型コロナウイルス感染予防対策に取り組んでいる宿泊施設)だけが対象です。キャンペーンの対象となる宿泊施設は右の画像からご覧ください。



問い合わせ 観光課 ☎ 24-1111

ワクチン接種後も感染防止対策の「徹底」と「継続」を

新型コロナワクチンには高い効果が認められていますが、接種を受けた人から他の人への感染をどの程度予防できるかについては、まだ十分に分かっていません。これからはワクチン接種を受けた人と受けていない人が共に生活する社会が続きますので、引き続き感染防止対策の「徹底」と「継続」をお願いします。また、熱中症対策やさまざまな事情でマスクを着用していないことについて批判的な行動や発言がないように、ご理解とご配慮をお願いします。

基本的な感染症対策「3つの基本」

- 身体的距離の確保**
普段の生活の中で3密(密閉・密集・密接)になっていませんか。他の人と十分な距離を取りましょう。
- マスクの着用**
正しくマスクを着用していますか。感染しやすい環境に行くことを避け、せきエチケットを徹底しましょう。
- 手洗い**
せっけんによる手洗いやアルコール消毒をしていますか。帰宅時や調理の前後、食事前などは小まめに手を洗いましょう。

感染リスクが高まる「5つの場面」

感染リスクが高まる「5つの場面」に注意しましょう



- ① 飲酒を伴う懇親会など
飲酒の影響で気分が高揚し、注意力が低下します
- ② 大人数や長時間に及ぶ飲食
大人数の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなります
- ③ マスクなしでの会話
近距離での会話は飛沫感染やマイクロ飛沫感染が生じます。車やバスで移動する際の車中でも注意が必要です
- ④ 狭い空間での共同生活
長時間にわたって閉鎖空間を共有するため、感染リスクが高まります(寮の部屋やトイレ等の共用部分など)
- ⑤ 居場所の切り替わり
休憩時間などで居場所が切り替わると、環境の変化や気の緩みが生じます(休憩室、喫煙所、更衣室など)

熱中症予防とコロナ感染防止で「新しい生活様式」を健康に

マスクの着用によって、熱中症のリスクが高まります。暑さを避け、水分を取るなどの「熱中症予防」とマスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。

- ① 熱中症を防ぐためにマスクを外しましょう
 - ・屋外で人と2m以上(十分な距離)離れているときはマスクを外す
 - ・マスク着用時は激しい運動は避ける
- ② 暑さを避けましょう
 - ・涼しい服装、日傘や帽子で暑さを避ける
 - ・少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動する
 - ・涼しい室内に入れないときは、外でも日陰へ
- ③ のどが渇いていなくても小まめに水分補給を
 - ・1日当たり1.2ℓを目安に
 - ・大量に汗をかいたときは塩分も忘れずに
- ④ エアコン使用中も小まめに換気をしましょう
 - ・窓とドアなど2カ所を開ける
 - ・扇風機や換気扇を併用する
 - ・換気後はエアコンの温度を小まめに再設定
- ⑤ 暑さに備えた体づくりと日頃からの体調管理を
 - ・暑くなり始めの時期から無理のない範囲で適度に運動する
 - ・毎朝など、定時の体温測定と健康チェック
 - ・体調が悪いときは、無理せず自宅で療養する

問い合わせ 新型コロナウイルス感染症特別対策室(感染症対策)、健康づくり課(熱中症予防) ☎ 24-1111